



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

NEWS LETTER — Vol.2

都立大の今

博士後期課程学生支援プロジェクト「みやこMIRAI」始動！

本学では今年度から、大学院博士後期課程進学者で一定の条件を満たす学生全員を対象に、1人当たり年額240万円の研究奨励費を支給するとともに、授業料免除とキャリアパス支援がセットになった「みやこMIRAIプロジェクト」を開始しました。さらに、優れた学生には、2年次以降、同世代の社会人の給与と同水準の上乗せ支援を行うことで、学生が研究に専念できるように後押ししていきます。

大橋学長からは「ぜひ本学で学問の奥深さとともに社会

へ関わっていく面白さを体験し、変化する世界へ飛び出していってほしい」とのコメントが寄せられております。

本学は、本プロジェクトを通じて優秀な人材の博士後期課程への進学を促進し、次世代を担う研究者を育成するとともに、多様なキャリアパス支援により、幅広い分野で活躍できる高度人材を輩出し、日本の科学技術力や競争力の向上に貢献していきます。

詳細はこちら▶



2028年度に開設を目指す新学部、進んでいます！

本学では、国際化の新しい取組として、国際系新学部の開設を目指し、準備を進めています。

コーディネーターの野口副学長は「国際系新学部は幅広い知識と高いコミュニケーション能力を備えたグローバルな視野を持つ学生の育成を目指しています。学問分野を越えて英語で学ぶことで、学生は柔軟な思考力と異文化の中で協

働する力を身に付けることができます。私たちは多様な背景を持つ意欲ある学生の皆さんに、この新たな挑戦に参加し、相互につながる世界の未来を担うリーダーとなることを心より歓迎します」とコメント。今後の本学からのお知らせに、ぜひ期待を寄せてお待ちください。

詳細はこちら▶



大阪・関西万博で行われた「コンビニロボ」技術大会でシステムデザイン研究科のチームが優勝！

7月に大阪万博で開催されたロボット技術によるコンビニ業務の効率化を競う競技大会「WRS2025 Future Convenience Store Challenge」において、システムデザイン研究科チーム「TAK」が総合成績1位・経済産業大臣賞を受賞しました！

これはロボット技術により従業員の負担を軽減し、顧客に新たなサービスを提供する未来のコンビニエンスストアを実現することを目的とする競技です。

競技は「陳列タスク」と「陳列廃棄タスク」の2つで、総合成績で1位の経済産業大臣賞となりました。

なお、10月下旬には受賞メンバーで都知事への表敬訪問を行い、大会報告の後、コンビニロボットを実演。研究成果や先端技術の活用などを知事に説明しました。訪問の様子は、東京都公式動画チャンネルに掲載されています。



詳細はこちら▶



この学生に注目! >>>

「鳥人間部 T-MIT」&「人力飛行機研究会 MaPPL」 鳥人間コンテスト2025出場!

今年も「鳥人間コンテスト2025」に本学の学生団体が出場し、「鳥人間部 T-MIT」が人力プロペラ機部門で8,168.85m、「人力飛行機研究会 MaPPL」が滑空機部門で296.93mと大健闘でした!

HPで代表学生からのコメントも紹介しておりますので、ぜひご覧ください。また、皆さまからのご寄附もお待ちしております!



詳細はこちら▶



学生広報チーム10期生、始動!

今年、新たに10期生13名がメンバーに加わりました!

東京都立大学学生広報チームは、キャンパスの様子や学生の活躍、教員の研究などについて、学生の視点から主体的に発信し、本学の多様な魅力を学内外に伝える活動を行っています。

都立大の魅力を広く発信するため、イベントの取材・記事作成、X・YouTube・Instagramへの投稿、さらに、都立大オリジナルグッズの製作など、幅広い活動に積極的に取り組んでいます。

学生広報チームの記事は、メトロノワでチェックしてください!



学生広報チームの記事はこちら▶

この卒業生に注目! >>>

作業療法学・脳科学から企業研究職へ、描き続けてきたキャリアの軌跡(磯部寛子さん)

首都大学東京 健康福祉学部 作業療法学科を卒業後、博士前期課程を修了し、現在は株式会社 資生堂でDE&I戦略推進部に所属されている磯部さん。

在学中、臨床実習で“化粧や整容(身だしなみを整えること)”が持つポジティブな力に興味を持ったことをきっかけに、脳機能の側面から「化粧が人の社会性に与える影響」について研究をしてきました。

社会人になって、「経験は、らせんのように回りながら上へと昇り、過去の経験が思わぬ形で活きてくることがある」と実感。学生時代の学びや経験が、その後に一見関係ないように思われる場面で役立つことも十分にあり得ること、またそのつながりに気づくこと

はとても面白いと感じているとのことです。

磯部さんは「目の前の勉強や実習で得られる直接的な知識だけでなく、そのプロセスの持つ意味や価値にも目を向けながら取り組んでほしい」と、学生にエネルギーを送ります。



詳細はこちら▶



理系と教職、二つの道に挑んだ4年間が教えてくれたこと(福元翔輝さん)

首都大学東京 都市教養学部 理工学系物理学コースを卒業後、私立明星学園中学校の教員として勤務する福元さんは、24時間マラソンのランナーとしても活躍され、2025年10月には「2025 IAU 24時間走世界選手権」に日本代表選手として出場されました。「都立大での4年間は、自分の進むべき道を見つける時間でした。皆さんも都立大で自分自身の可能性を大きく広げてください」と学生にエールを送ります。



詳細はこちら▶



この先生に注目! >>>

人間健康科学研究科看護科学域の前田耕助准教授、日本看護研究学会2024年度奨励賞を受賞!

この度受賞した前田耕助准教授による研究は、ワクチンなどで実施される肩の三角筋への「筋肉内注射」に着目したもの。注射する位置や腕の姿勢、看護師の注射手技によって、針を刺す部位の皮下組織や筋肉の厚さ、皮膚から骨までの距離がどのように変わるのがを科学的に検証しました。結果としてより安全に注射を実施する方法を示すことができ、医療の現場や看護の教育に役立つ研究として評価されました。



詳細はこちら▶



東京都立大学

南大沢キャンパス 日野キャンパス
荒川キャンパス 晴海キャンパス
丸の内サテライトキャンパス

公式サイト▶



X(旧ツイッター)▶



YouTube▶



Instagram▶

